

ひろば 大代

平成 6.1.7

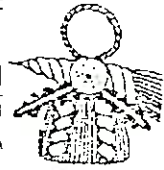
大代公民館

新年 明けまして

おめでとう

ございます。

公民館運営委員長 日向高弘



謹んで新春の御祝辞を申し上げます。皆様方にはお揃いで、よき新年をお迎えるの事と、心よりお慶び申し上げます。旧年中は公民館の主催した様々な行事に大変なるご理解、ご協力を賜りまして有難うございました。本年も変わりませずよろしくお願い致します。

さて、私達をとりまく環境は日々変化をしております、それに伴い色々な問題が発生しています。個々に解決出来る事もありますがその大多数は、私達みんなで助け合い、協力し合わないといけないと思います。そのためにはお互いがもっと理解し合い尊重し合う必要があります。

公民館は、そのような機会や場を提供するためにはどうしたらよいのか、

館長を始め運営委員一同一生懸命に取り組んでいます。

時間の許される時にはどうぞお気軽に公民館をのぞいてみて下さい。心良く応対してくれるはずですよ。

本年は明るいニュースで満ち溢れる事を願い、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます、年頭に当たってのご挨拶と致します。

新春を迎えて

連合自治会長 高村 貢

明けましておめでとうございます。去年は不況／＼で一年が終わりました。でも、わが町では不況の波はまだそれほどでもありませんが、冷夏で農作物（米、野菜）の不作が家庭に大きくひびいた一年だったと思います。

今年こそいい年にしたいと思います。

一月末には大田市の市会議員の選挙があります。この四年間、大代町は変わりました。市原市会議員さんのお陰で農道、市道が整ってきました。また生活と政治が身近に感ずるようになりました。今後、更に大代町が燃えていく

上にも市原氏を私たちの代弁者として推選させたいと思います。

大代町活力の上からも団結して、明るい町づくりを目指しましょう。

お互い個々の目標を持って助け合い良い年でありますようお祈り申し上げます。

成年に期待すること

婦人会長 後藤マサエ



婦人会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

成年ってすばらしい年なんですね。古書によりますと、この年に生まれた人は義理人情に厚く人のためには正直に、そして陰日向なく働き、信用が厚く成功の基となるそうです。

しかも女性にはお産も無理なく安産で宝子が産めるとありました。

「産めよ、増やせよ」という言葉があります。大代町の高齢化も（今日現在約三九％）です。こちらで納めていただきたい気持ちでいっぱいです。そこで婦人会層別の若い「コスモス」グループさんに大代町の人口が増えます

ようにお願いを致します。

どうぞお互いに健康には充分留意され、予防検診には進んで受けられますよう、そして早期に手当をしていただき、六年も元気でやりましょね。

新年のご挨拶

東京石見高山会会長 田中憲経

新年明けましておめでとございます。ご郷里の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はいろいろとお世話になりありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

バブル崩壊の後の戦後最悪ともいわれる深刻な不況から脱却の期待も空しく、一向に明るい展望が開けないまま新年を迎えました。

ご郷里の皆様にも経済不況に歴史的な冷夏による不作も重なり、ご苦勞の多い事と存じます。

しかしどんな厳しい世の中にあっても、私達は故郷のみどりと暖かい人情を、あたかも身体を温める懐炉のように心の中に抱いております。

この幸せを大切にしながら今年もまた頑張りたいと思います。

東京石見高山会も早いもので今年の秋は発足十周年を迎えます。設立の原点を守り、次の二十周年に向けて新たな歩みを重ねていきたいと思っております。

郷里での夏の交流会、東京での秋の懇親会には、今年もまた大勢の方々にお会いできます事を祈っております。

新年のご挨拶

関西高山会事務局長 中本 弘



大代町の皆様、新年明けましておめでとございます。

昨年の第二回関西高山会の総会には大田市の中田収入役様、市原市議員様、田辺公民館長様を始め役員の方々、多数御来阪いただき、心から御礼を申し上げます。

お陰を持ちまして会も発足後順調に発展し、約一六〇名の方が我がふる里大代町を「心のふる里」として大事に思っております。本当にあり

がたいことでございます。

さて、昨年は不況脱出の手がかりも見られず、その上追い打ちをかけるように異常気象による長雨、冷害により農家の方々には大変だったと察し致します。

又三〇年余り続いた高度成長もこれから望むことも出来ず、「世界の中の日本」の役割・進路が強く求められているが、現状はそれに反して「不信・不安感」が強いのが実情であります。

この時こそ、佛の心「生まれ、生きて生かされて」特に「生かされて」という素直な心が求められるのではないのでしょうか。

ふる里を大切にする心、その心こそ原点であり、関西高山会はそのお手伝いをしていきたいと思います。そこに存在感としての意味があります。

今年の総会は六月十二日に開催を予定しております。役員一同、知恵を出し合いふる里の雰囲気盛り上げるよう努めたいと考えています。出席を心からお待ちしております。

本年がよき年でありますようにお祈り致します。

◎成人の日おめでとう！（八名）

山田 渡利修二君 下市 森義博君

柿田 岸真喜子さん川上 角典子さん

平 井谷康君 弓久 笠岡頼子さん

平 田辺優君 下谷 丹後幸絵さん

「今年は戌年」

犬の特性としては忠実、利口、敏捷報恩が挙げられます。今年の戌年を生き抜いていく上にも犬の特性を活用して良い年にしていきたいものです。

「今年ほくの年」

大代小六年 谷口政行



今年は大年でほくは年男です。それにほくは今年から中学校なので、気合を入れたいこうと思います。

まず中学校といえは英語です。ほくは全然英語が読めません。しかもローマ字も書けないし読めません。勉強についていけないかもしれないのでとても心配です。

もう一つ頑張りたい事は部活です。卓球は楽しいし、スマッシュが決まる

ととてもかっこいいし、スカッとします。奨君とほくはなぜか急に卓球に目覚めたのです。ほくは走る以外の運動はだめだけど、卓球は得意になれそうです。

三つめに頑張りたいことはキャベツのせん切りが上手になることです。

ほくがやると、キャベツの葉一枚切るにも時間がかかって太く切れるし、お母さんみたいにトントントンと上手になりたいです。これも今年の目標に入れてせん切りする時はお手伝いをして早くできるようになりたいです。

この三つの目標をきちんと守って実行して、いつもとは違う全力で走りぬけるような一年にしたいです。

「戌年にあたって」

椿 権原 広

皆さん 明けましておめでとうございます。

突然ですが、今年の干支は何でしょう？そう、私の年「戌年」です。（私一人の年ではありませんが……）

今回で三回目の戌年を迎えたのです

が、十二才、二十四才の時はどうだったかと振り返ってみても、特別どうだったという思いがないのが正直なところですか。

十二才の時は訳もわからず、二十四才の時は「ああ、二回目の干支が来たな」とただそれだけの思いだった様に感じます。今年で私は三十六才になります。二十四才から今までというのは人間の一生の中で一番変動のある十二年間ではないかと思えます。

自分のこととみれば、結婚・子供の誕生等・自分の人生の方向を決定づける期間だった様に思います。

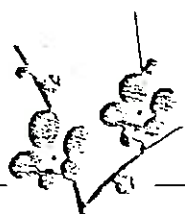
これから先、だまって何もしないでいても、十二年に一度戌年がやってきます。

自分の干支を一つの節目として、今までの十二年を考え、これからの十二年を有意義に過ごすための意味ある一年にしたいと思えます。

自治会紹介

「了真寺の由緒」

弓久 高村利乘



大田市の最南端「弓久」自治会をご紹介致します。

現在戸数僅か十世帯、人口二十一人新屋字久具と弓木が合併して現在は弓久自治会となっております。

私が特に紹介したいのは、四季折々変化する野山と、市道川本線の川沿いに見える神秘的な岩肌にそって流れる川、生い茂るカシの木等、まるで墨絵の様です。

又、久具と言えば了真寺が有ります。文献、了真寺由緒書によりますと、「開基創立之義は不詳傳に曰く中古石見の園邑智郡丸山城主小笠原長春、毛利元就と戦って敗走す、家臣、井原土佐一族同国邇摩郡新屋村に來たり、所有地に住す、子孫井原九右門入道、淨真宗教篤信に依つて、享保七年上旬本山第十五世、住如上人より寺號及び本尊形を賜り依之当寺を開基す」とあり、今から約二七〇年前の事と思われます。近年町民の皆様のご厚志に依り屋根修理等出来ました事お礼申し上げます。自治会紹介もあと一地区となりましたが、貴重な一ページを与えて下さった事を心からお礼申し上げます。共に

我が集落の幾久しい事を念じながら。

唱歌の旅 (一月)

「一月一日」

一、年の始めの ためしとて

終わりなき世の めでたさを

松竹立てて 門毎に

祝う今日こそ 楽しけれ

二、初日の光 さしいでて

四方に輝く 今朝の空

君がみ影に たぐいつつ

祝う今日こそ 尊けれ

第九回東京石見高山会

総会盛會裏に終わる

事務局長 松本健一

第九回東京石見高山会総会は去る十一月七日、築地本願寺会館において来賓、会員六十余名が出席し盛會裏に終了した。

総会は正午から米原光義氏の司会進行のもとに進められた。

大代町より九名、関西高山会から二名のご臨席を仰ぎ、総会を一層盛り上げて頂き会員感謝の気持ちいっぱい

あった。

東京石見高山会会長田中憲経氏の挨拶の中で、始めに大代町で八月十五日に挙行された都市とふる里を結ぶ交流会で地元の温かい歓待を受けた喜びの感謝の言葉が述べられた。そして、来年は東京石見高山会結成十周年という節目を迎えるので一人でも多くの会員が出席し、将来への発展につながる意義ある記念総会にしたいので皆さん方のご協力をお願いしたいと話された。

次に田辺館長、市原市会議員の挨拶があり、大代町の現況や課題について情熱あふれるお話を頂いた。ふる里を離れている者にとって身近にふる里の話が聞けることはこの上ない喜びであった。ふる里を支えていただいている皆さん方に心から感謝と敬意を表したい思いがわいてきた。

会場では会員同志の近況交換、大代の稲作具合、再会を喜ぶ杯の音、カラオケも入り宴たけなわとなった頃、田中公道さんの波尔ガの舟唄、コロラドの月など魅惑の四曲を披露、会場は思わぬ美声のビックプレゼントに酔い大きな拍手に変わった。

時計が四時を回る頃、渡弘文氏が皆さんの健康と会の発展を祈って大締めを行った。

会場で別れを惜しむかのように、手をつなぎ肩を組んでの歌声は会場いっぱいに広がった。「兎追いしゅかの山……」「ふけゆく秋の夜……」

都市とふる里を結ぶ交流の輪はだれもがうるんだ眼に、来年の八月は大代で、また秋には東京でと、再会を誓い合った。東京石見高山会の今後の発展を祈らずにはおられなかった。

交通安全大代チーム頑張る！

十二月五日(日)松江の国引きメッセで、交通安全チャレンジラリーの表彰式が行われ、大交代協と大交代安協の両チームを代表して交安協会長市原仁郎氏が参加した。

七月一日から十月二十八日迄の百二十日間、一チーム十名を編成し、十名全員が無事故無違反を達成したものである。これを忘れず、平成六年も交通安全に頑張りたいものです。

歳末助け合い運動による

「愛の袋」募計配分報告

大田市社協大代支部

二六九戸 金額一二二、八五〇円

年末の「愛の袋」運動には町内の皆様方の温かいご理解とご協力を頂き、本当に有難うございました。お寄せ頂きましたお金は、町内三十四世帯の何かと恵まれない方々へ配分させて頂きました。

◎クイズ (頭の体操)

美人で有名なA子さんが写真を撮ってもらった。二日後にできあがった写真を見たら、なぜか美人とはほど遠い顔をしていた。どうしてだろう？

★(十二月号の答) 女性の気にさわった)

*** 一月行事予定 ***

9日(日) 消防出初式

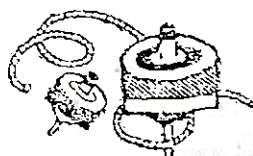
11日(火) 婦人会役員会

12日(水) 寿会役員会

16日(日) 福祉弁当

17日(月) J A健康診断

18日(火) 町内書き初め展



27日(木) J A健康診断腹部超音波

28日(金) 稲作講習会

30日(日) 市会議員選挙

*** 二月行事予定 ***

6日(日) 幼小中合同家庭教育

研修大会(公民館於一時)

講師 仁摩町々長 泉道夫氏

★——★おしらせ★——★
赤ちゃん誕生

おめでとうございます。

上飯谷 山根豊澄さん

和子さん 彩加ちゃん

◆大代公民館から

下市 佐藤京子様より

公民館入り口に隔週毎に生け花を

柿田 岡田都男様より

炊事場の排水パイプの修理を

それぞれありがとうございます。

厚く御礼申し上げます。

◆社協大代支部から

上飯谷 泉 幸人様より

山田 渡 重子様より

植松 鳥筒尾 正様より

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。